

年度	日付	講義テーマ	講師
2012年度	9月22日	①脳卒中後の神経可塑性と運動機能回復 ②機能回復を目指す脳卒中リハビリテーションの理論と実際 ③ロボットスーツHALの可能性	①畿央大学大学院健康科学研究科 畿央大学健康科学部理学療法学科 教授 森岡周 先生 ②福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生 ③福岡青洲会病院 リハビリテーション部 理学療法士 堤偉史 先生
	2月23日	①脳卒中のリハビリテーション-目的を持った治療選択 ②画像診断から考えるリハビリテーションのゴール設定 ③ボトックス注射後のリハビリテーション	①兵庫医療大学リハビリテーション学部 佐野恭子先生 ②③福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
2013年度	8月18日	脳卒中後の神経可塑性と運動機能回復	畿央大学大学院健康科学研究科 畿央大学健康科学部理学療法学科 教授 森岡周 先生
	10月28日	磁気刺激セミナー	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	11月30日	ボツリヌス療法について	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲先生
	2月1日	脳卒中に対する課題指向型トレーニング -その理論と実際-	杏林大学保健科学部理学療法学科 杏林大学大学院保健学研究科 保健学専攻リハビリテーション科学分野 教授 潮見泰藏 先生
	5月17日	リハビリテーションに役立つ脳解剖 ～脳画像のランドマークの同定の実際 運動機能を中心に～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
2014年度	6月29日	リハビリテーションの臨床に役立つ脳解剖とその機能 ～脳画像の理解のための考え方と実際～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	8月17日	高次機能障害の脳内機構とニューロリハビリテーション	畿央大学大学院健康科学研究科 畿央大学健康科学部理学療法学科 教授 森岡周 先生
	10月18日	リハビリテーションに役立つ脳解剖 ～基礎編～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	1月24・25日	バイオメカニクスの基礎と応用 ～方麻痺患者の動作分析～	国際医療福祉大学 大学院福祉支援工学分野 教授 山本澄子 先生
	3月15日	リハビリテーションの臨床に役立つ脳解剖とその機能 ～応用編～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
2015年度	5月10日	リハビリテーション臨床に役に立つ脳解剖とその機能 ～脳画像のランドマークの同定と病巣解釈の基本～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	7月2日	リハビリテーションのためのニューロサイエンス	旭川医科大学医学部 脳機能医工学研究センター 教授 高草木 薫先生
	7月18日	リハビリテーションのための神経疾患の摂食嚥下障害	兵庫医療大学 リハビリテーション学部 大学院医療科学研
	9月27日	リハビリテーションの臨床に役立つ脳解剖とその機能 ～応用編～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	2月7日	脳卒中の下肢装具 ～病態に対応した装具の選定と 使い方とリハビリテーションの実際まで～	医療法人社団 和風会 千里リハビリテーション病院 チーフ 増田 知子 先生
	3月20日	リハビリテーションの臨床に役立つ脳解剖とその機能 ～脳画像の理解のための考え方と実際～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
2017年度	3月25日	Pusher現象の理解 ～病態および画像所見からアプローチまで	一般財団法人広南会 広南病院 阿部浩明 先生
2018年度	6月30日	脳画像読影 はじめの一歩セラピストとして知っておくべきポイントとは？	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	9月22日	リハビリテーションのための脳画像解釈の実際～実践編～	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	3月17日	失語症を中心とした高次機能障害について	北海道大学 保健科学研究院 保健科学部門 基盤看護学分野 准教授 大見見佳 先生
2019年度	6月8日	脳の機能の考え方と解剖ランドマークの同定の仕方 投影の実際	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	9月28日	画像セミナー 応用編	福岡青洲会病院 脳神経内科 副院長 医師 井上勲 先生
	2月8日	脳損傷後に生じる神経の可塑的变化	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報研究部門 ニューロリハビリテーション研究グループ 肥後範行 先生
2022年度	12月10日	脳卒中でみられる 高次脳機能障害患者への対応	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター センター長 前島伸一郎 先生